

令和3年度 事業報告

1、 総括

○新型コロナウイルス（Covid-19）の感染拡大が止まらず、昨年同様、現場でのアート展はすべて中止、インターネットでの開催を行った。

○ハープ事業による安定収入

西部浄化センター横の太陽光発電所管理による、大きな定期的収入のおかげで、Covid-19感染拡大の影響を受けながらも、障がい者への安定した給与に繋がれた。引き続き受注先への配慮に感謝しながら、安定した協力体制を構築していきたい。

○施設利用者の減少（施設利用の低迷）等により、事業全体の業績低下に繋がる結果となった。今後は、利用者の安定した施設利用に繋がるよう、職員の人財育成はもちろん、魅力ある施設づくりにまい進していきたい。

○平成28年に開所した相談支援事業所米子支部は、専門職員の人材確保が困難なこと、充実したサービス提供の維持が難しくなったため、令和3年12月31日付で閉所することとなった。

2、 組織の状況

① 令和3年度末会員数

正会員 40 賛助会員 0 計 40

② 理事数・理事会開催数

理事 7人 監事 2人 開催数 2回

3、 事業実施の成果

A) 就労継続支援B型“わんぱく大使館”事業

【平成30年4月1日（指定）】（2018年4月1日） 現在 23名（定員20名）

障がいのある人の個性や創造性に着目した新たな自立支援の道として平成24年4月1日からわんぱく大使館（B型事業所）をスタートしてきた。

現在定員20名のところ23名の利用者が施設利用している。

施設利用者へのきめ細やかなサービス提供、継続した施設利用に繋がるよう、職員の人財育成に勤めていきたい。

また、引き続き新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大防止対策を行い、施設利用者が安心して施設を利用できるよう努めていきたい。

利用者数の状況

定員20名

月度	(令和3年4月～令和4年3月)											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者数	27	27	28	28	28	28	28	26	24	24	24	23
月平均利用	25	27	27	26	26	26	28	23	22	23	21	21
充足率(%)	125	135	135	130	130	130	140	115	110	115	105	105

就労支援事業収入と平均工賃額

月度	(令和3年4月～令和4年3月)											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
就労支援事業 収入(千円)	431	466	465	485	459	458	445	476	808	450	577	504
平均工賃(千円)	17	18	18	19	18	18	17	19	32	18	24	20

B) アート展の開催

- 1、一畑百貨店アートフェア：新型コロナウイルス感染拡大のため(中止)
- 2、第11回国際チャレンジドアートエキスポインジャパン2021

C) 計画相談支援および障がい児相談支援事業

【平成27年9月 1日（指定）】（2016年9月1日） 出雲 / 現在 8名

【平成28年10月24日（指定）】（令和3年12月31日閉所）

利用者確保もさることながら、相談支援専門員の人材確保が必要である。

相談支援専門員の資格取得者を含め、きめ細かいサービス提供に繋がるよう、人財育成に力を入れていきたい。

利用者数の状況

・出雲

月度	（令和3年4月～令和4年3月）											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
利用者数	9	9	9	9	9	9	9	8	7	7	7	7
サービス提供実施回数	9	7	9	7	7	8	7	6	7	5	6	6

・米子

月度	（令和3年4月～令和4年3月）											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
利用者数	100	108	108	108	108	108	108	108	108	0	0	0
サービス提供実施回数												

D) 共同生活支援“わんぱくハウス”事業

【平成29年4月1日（指定）】（2018年4月1日） 現在 2名（定員6名）

障がいがある人たちが安心して生活できる場として、平成29年4月1日からスタート現在2名（昨年より-1名）。利用者の確保も必要だが、まずは、利用者の居場所作りに繋がるよう（COVID-19感染拡大防止も含め）、事業の継続に努めていきたい。あわせて職員の資質向上、人財育成に取り組んでいきたい。

利用者数の状況

定員6名

月度	（令和3年4月～令和4年3月）											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
利用者数	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2
月平均利用	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2
充足率（%）	50	50	50	50	50	50	50	50	33	33	33	33

E) わんぱく学園事業

【出雲市からの委託事業】

共生の町づくりの普及、そして、障がい児者の情報 県内の障がい者グループとの情報交換や相談の充実の場として33年行ってきた活動。昨年同様、covid-19感染拡大の影響により、その殆どを自粛せざるを得なかった。